

第 10 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

令 和 7 年 1 0 月 1 0 日

知 多 市 教 育 委 員 会

第 10 回 知 多 市 教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

招 集 年 月 日	令 和 7 年 1 0 月 1 0 日		
招 集 場 所	知 多 市 役 所 書 庫 棟 会 議 室 1		
開 会	午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	午 前 1 0 時 3 5 分		
出 席 者	教 育 長	永 井 清 司	
	委 員	久 野 美 奈 子	
		加 古 三 津 代	
		栗 本 弘 太	
		竹 内 直 哉	
出 席 した 職 員	教 育 部 長	杉 江 大 典	
	学 校 教 育 課 長	林 絵 美	
	生 涯 学 習 ス ポ ー ツ 課 長	濱 野 和 江	
	指 導 主 事	後 藤 浩 子	
		佐 方 貴 文	
	事 務 局 学 校 教 育 課	竹 内 久 恵	
		山 本 将 希	
傍 聴 者	な し		
議 題	な し		
そ の 他	(1) 令 和 7 年 9 月 市 議 会 定 例 会 の 一 般 質 問 の 概 要 に つ い て (報 告)		
	(2) 令 和 8 年 教 育 委 員 会 会 議 開 催 ス ケ ジ ュ ー ル (案) に つ い て (報 告)		
	(3) 知 多 市 生 涯 学 習 地 域 推 進 員 の 設 置 等 に 関 す る 要 綱 の 一 部 改 正 に つ い て (報 告)		
	(4) 令 和 7 年 度 全 国 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査 の 結 果 に つ い て (報 告)		
	(5) 令 和 7 年 9 月 準 要 保 護 者 等 の 認 定 状 況 に つ い て (報 告)		
	(6) 教 育 委 員 会 後 援 事 業 に つ い て (報 告)		

1 開会

出席者 5 人

第 10 回知多市教育委員会定例会を開会する。

2 前回会議録の承認について

第 9 回定例会会議録は、委員全員の賛成により承認された。

第 9 回署名委員 久野委員、竹内委員

第 10 回定例会会議録署名委員を指名した。

加古委員、久野委員

3 教育長報告

別紙教育長報告により説明した。なお、概略は次のとおりである。

(1) 図書館を使った調べる学習コンクール審査会

例年に比べると若干作品数が少なかったですが、力作は多くありました。今後表彰式を行い、上位入賞した作品については全国大会へ応募する予定です。

(2) 知多市文化協会文化講演会

星城大学からリハビリテーション学部の 3 名の先生にお越しいただき「老けない秘訣は“動くこと”！運動や趣味で防ぐ病気と老化」というテーマで講演していただきました。

(3) つつじが丘コミュニティ秋まつり

とても多くの人たちでにぎわっていて、外国人の方々もたくさん来ていました。

(4) 佐布里地区市民運動会

コロナや雨などで中止が続き、6 年ぶりの開催ということです。今回は 13 の競技が行われました。

(5) 牟山神社大祭（朝倉梯子獅子）

朝については予定どおり行われましたが、夜には雨が降ってきたため神殿の方で行われました。大村知事もお見えになりました。

(6) 知多地方教育事務協議会

来年度の人事に向けて動態調査票などが提示されました。また、協議会の人事異動方針が出されました。これに則って来年度の人事が行われていきます。

(7) 子どもの体力向上実践事業講演会

至学館大学の上島先生にお越しいただき講演をしていただきました。今回は「体育の授業」というよりは「授業の作り方・見方」の話になっていて、体育だけにとどまらない内容となっていました。非常に興味深く、この内容が各学校で還元されていく良いと思いました。

4 議題

なし

5 その他

(1) 令和7年9月市議会定例会の一般質問の概要について（報告）

（説明）杉江教育部長

令和7年9月市議会定例会の一般質問の概要について、ご報告いたします。

1の公明党議員団、泉清秀議員から、1番目、食品ロス削減の推進について、市長答弁ののち、1点目、学校給食について、教育部長が答弁しました。

要望として、引き続き、食品ロスの削減に向けた取組を行うこと、とありました。

次に、2の創政会 伊藤正明議員から、1番目、指定避難所としての小中学校の体育館の空調設備工事について質問があり、市長答弁ののち、1点目、東部中学校及び中部中学校の空調設備の熱源について、2点目、各中学校の空調設備の熱源の採用理由について、3点目、中学校から空調設備工事を行う理由について、4点目、各小学校の空調設備工事を行う予定及び内容について、5点目、工事の財源について、教育部長が答弁し、再質問が2つありました。

要望として、冬場の避難所運営の観点とともに、昨今の異常な暑さを鑑みても、できる限り早い時期のエアコンの設置を行うこと、とありました。

次に、3の新緑知多 川脇裕之議員から、1番目、学校施設の整備について質問があり、市長答弁ののち、1点目、校舎整備の取組について、2点目、グラウンドの整備内容について、教育部長が答弁し、再質問が2つありました。

要望として、教育環境の一層の充実のために、学校グラウンド整備に向けた慎重かつ丁寧な検討を実施するとともに、校庭芝生化も含めた多角的な検討を行っていくこと、とありました。

以上で説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

（質疑・意見）なし

(2) 令和8年教育委員会会議開催スケジュール（案）について（報告）

（説明）林学校教育課長

令和8年教育委員会会議開催スケジュール（案）について、ご報告いたします。

定例会はこれまでどおり、原則として毎月第2金曜日、開催時刻は午前9時30分を予定しています。

なお、3月の第3回定例会は、人事内示等の関係により3月3日の火曜日を予定しています。2月及び8月の定例会につきましては、それぞれ終了後に教職員表彰、教育予算要望懇談会を予定しているため、午後に開催する予定です。

また、6月、9月及び12月につきましては、市議会の開催日程により変更する場合があります。

以上で説明を終わります。よろしくお願ひいたします。

（質疑・意見）

教育長

第8回の教科書改訂についてですが、教科書改訂がない年度については、地区協議会を開催しないことになったと思います。第7回とまとめて行ってしまうことは難しいでしょうか。詳細についてもまた知多地方教育事務協議会へ確認してみます。

(3) 知多市生涯学習地域推進員の設置等に関する要綱の一部改正について（報告）

（説明）濱野生涯学習スポーツ課長

知多市生涯学習地域推進員の設置等に関する要綱の一部改正について、ご報告いたします。

改正の内容は任期を定める第4条に第2項を新設し、必要と認められるときは任期を1年とすることを可能にしました。

改正の理由は、生涯学習地域推進員の職務が地域学校協働活動推進員へ移行することから、旭南中学校区を除く令和8年度の生涯学習地域推進員の一斉選任の際に八幡、つつじが丘、新知、佐布里の各コミュニティから推薦される生涯学習地域推進員は、令和9年度の八幡中学校区及び中部中学校区の地域学校協働本部導入に伴い、1年任期で生涯学習地域推進員として委嘱することを可能にするためでございます。

施行期日は、令和8年4月1日でございます。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

（質疑・意見）なし

(4) 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について（報告）

（説明）佐方指導主事

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について、ご説明いたします。

今年度は4月18日木曜日に実施しました。

14から16ページは、本市の結果の概要でございます。14・15ページに小学校分の概要を、15・16ページに中学校分の概要を示しております。

17・18ページの「個人票の配付について」は、各学校が個人票を配付する際に添付していただく保護者向けの案内です。なお、個人票の配付は、10月10日以降で各校へ依頼しています。

お手元のA3判の資料1をご覧ください。

小学校の概要でございますが、3教科とも「努力を要する状態」であります。

国語の「情報の扱い方に関する事項」では、「情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる」こと、「書くこと」の領域における「目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるようにするための書き表し方を工夫する」こと、「読むこと」の領域における「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける」ことにそれぞれ課題が見られることが分かりました。

算数の「図形」の領域における「数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつ分として捉える」こと、「図形」の領域における「図形の性質を基に、コンパスを用いて作図する」ことに課題が見られることが分かりました。「変化と関係」の領域における「伴って変わる二つの数量の関係に注目し、必要な数量を見出す」ことは、全国平均正答率をやや上回っていることが分かりました。

理科の「エネルギー」を柱とする領域における「電磁石の強さは巻き数によって変わる」ことや「乾電池のつなぎ方に関する知識」に課題が見られることが分かりました。「粒子」を柱とする領域における「問題に対するまとめを導き出す際、解決するための観察、実験の方法が適切であったか検討し、表現する」ことは、全国平均正答率を上回っていることが分かりました。「生命」を柱とする領域では、「種子の発芽条件について、差異点や共通点を基に、新たな問を見だし、表現する」ことに課題が見られました。

次のページの資料2をご覧ください。

中学校の概要でございますが、国語と数学は「やや努力を要する状態」であります。理科

については、「おおむね満足できる状態」であります。

国語の「話すこと・聞くこと」の領域における「資料や機器を用いて、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する」ことに課題が見られることが分かりました。「書くこと」の領域における「読み手の立場に立って、標記を確かめて、文章を整える」ことや課題が見られることが分かりました。「読むこと」の領域における「文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉える」ことは、全国平均正答率をやや上回っていることが分かりました。

数学は「数と式」の領域における「素数の意味の理解」など知識・技能の観点に関しては、軒並み全国平均正答率を上回っていることが分かりました。しかし、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する」といった思考・判断・表現の観点においては課題が見られることが分かりました。「関数」の領域における「事象に即して、グラフから必要な情報を読み取る」ことは、全国平均正答率を上回っていることが分かりました。

理科は、「エネルギー」を柱とする領域における多くの問題、また、「生命」を柱とする領域における全ての問題の平均正答率が全国平均正答率を上回っていることが分かりました。「粒子」を柱とする領域における「実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表す」ことに課題があることが分かりました。

昨年度、小中学校、国語、算数・数学に共通する課題として、記述式の問題に対する無回答率がすべての問題で県平均・全国平均を下回っていることについては、今年度改善されました。

続いて、資料3をご覧ください。

小学校の児童質問紙分析でございます。「課題解決に向けて、自分で考え、取り組んでいるか」「話し合いを通じて、自分の考えを深めたか」の項目で肯定回答が減少しました。学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が図られてきましたが、「自分にあった学び方であったか」の項目に対する肯定回答の減少も考慮すると、課題の内容等が本当に目の前の児童の実態に合っており、解決していきたいと思えるものなのかを吟味するなど、指導方法の工夫が必要であるのではないかと考えます。

I C T機器活用能力の項目（令和7年度からの新しい項目）について、ほとんどの項目に対する肯定回答は県平均・全国平均を上回っています。これは、本市がリーディングD Xスクール事業を中心にI C T機器の活用を進める中で、児童がその活用能力が身につけてきていると実感しているものと考えられます。

学校生活の楽しさや友達との関係性について、児童の8割5分以上が肯定回答をしており、9割を超える児童が人の役に立ちたいと回答しています。また、将来の夢や目標をもっている児童の割合は大きく増加し、全国平均を上回っています。一方で、「地域や社会をよくするために何かしてみたいか」の項目は大きく減少しています。地域とのつながりを大切に、世の中で起きていることを自分事として捉え考えていくような実践が必要であると考えます。

続いて、資料4をご覧ください。

中学校の生徒質問紙分析でございます。「課題解決に向けて、自分で考え、取り組んでいるか」「自分の考えを工夫して発表しているか」「話し合いを通じて、自分の考えを深めたか」の項目で肯定回答が減少しました。学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善が図られていますが、「自ら考え、行動する」ことを委ねられることが増えたため、その難しさも感じられているのではないかと考えられます。生徒の実態を踏まえ、無理のない歩幅で進められるようにするなど、継続的な授業改善が必要である

と考えます。

「自分にあった学び方であったか」「周りと協力して課題解決しているか」の項目は、肯定回答が増加したものの、どちらの回答も全国平均を下回っています。今後も継続して個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた指導方法の工夫が必要であると考えます。

I C T機器活用能力の項目（令和7年度からの新しい項目）について、ほとんどの項目に対する肯定回答は県平均・全国平均を上回っています。これは本市がリーディングD Xスクール事業を中心にI C T機器の活用を進める中で、生徒がその活用能力が身に付いてくると実感しているものと考えられます。引き続きI C T機器を普段使いする中で、児童自身の判断で課題解決に使用するかどうかを選択できるような授業実践を進めていく必要があると考えられます。

学校生活の楽しさや友達関係、教師の受容感についての項目で、生徒の8割が肯定回答をし、昨年度よりも増加しています。ただ、依然として全国平均を下回っているため、今後も継続して、学校は分かりやすい授業や生徒の安心できる居場所づくりに努めていく必要があります。

将来の夢や目標をもっている生徒の割合はやや減少しているものの、人の役に立ちたいと思うことや地域・社会貢献に関する項目への肯定回答は大きく増加しています。今後も継続して生徒の挑戦心や自己肯定感を高められるような指導・支援を継続しながら、生徒自身の思いに寄り添いつつ、個々の自己実現や社会的自立を目指した進路指導やキャリア教育を家庭と連携しながら実践していくことが必要であると考えます。

続いて、資料5をご覧ください。

小学校の正答率経年変化でございしますが、国語は、令和6年度の調査と比べて全国平均との差が多少縮まるような状況となっています。算数は、令和6年度の調査と比べて全国平均との差が広がった状況となっています。

続いて資料6をご覧ください。

中学校の正答率経年変化でございしますが、国語は、令和6年度の調査と比べて同程度全国平均・県平均を下回る状況となっています。数学は、令和6年度の調査と比べて全国平均・県平均を下回る状況となっていますが、全国平均との差は縮まりました。

最後に、資料7をご覧ください。

同一母体の正答率変化でございしますが、グラフの上が令和7年度、下が令和4年度で、これらをセットにしてご覧ください。令和3年度は小学6年生、令和6年度は中学3年生で、同じ母体になっております。

国語・数学ともに中学生になって学力がついてきていることが分かりましたが、いずれも県平均・全国平均を下回る状況になっています。

今後も児童生徒の学力が更に定着するように、指導方法を工夫していくことが大切であると考えております。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

（質疑・意見）

加古委員

全国と比較すると差が広がってきているのは残念ですが、一方で知多市が力を入れているI C Tの活用については日頃から先生方が頑張っている成果が出ていると思います。

竹内委員

今回と今年の知多市の状況もあわせて確認しましたが、厳しい結果であるとひしひしと

感じました。ですが、ICTについては皆さんが言うようにとても伸びていますので、もっともっと強みにできるよう先生方には自信を持って指導していただけたらと思います。

久野委員

この結果だけでは判別できない内容として、全国よりも少し低いというこの結果が『上にとびぬけている子が少ない』のか『全体的に低くなっている』のか、どこの点数の層が厚いのか分かる分布図があると、平均値とは違った分析ができるのではないかと思います。

教育長

先ほどの教育長報告で話した子どもの体力向上実践事業講演会の中で、先生が「この全国学力・学習状況調査ではほぼ決まった都道府県が上位に挙がる」とおっしゃっていました。過去問などに取り組んでいくことで、それなりの効果があるようです。

また、学んだことを定着させるためには学校だけでなく、復習を行うための家庭学習ノートなどを作って、子どもたちが学んできたことを保護者が見てコメントを入れて返す、というような家庭学習に力を入れていけば、伸びてくるのではないかと思います。

(5) 令和7年9月準要保護者等の認定状況について（報告）

（説明）林学校教育課長

令和7年9月準要保護者等の認定状況について、ご報告いたします。

準要保護の認定につきましては、前回から今回までの認定件数は、小学校3人、中学校2人で、取消は小学校2人、中学校1人でした。

現在の認定者数は、小学校329人、中学校236人、合計565人です。

認定児童生徒の理由別内訳は、「保護者の職業が不安定で、生活状態が悪いと認められるもの」の理由で、認定が5人、取消が3人でございます。

次に、要保護の認定につきましては、前回から今回までに認定、取消ともにありませんでした。現在の認定者数は、小学校13人、中学校9人、合計22人です。

続きまして、特別支援教育につきましては、Ⅱ段階では、前回から今回までの決定は中学校で2人でした。現在の決定者数は、小学校165人、中学校54人、合計219人です。

Ⅲ段階につきましては、前回から今回までに、決定、取消ともにありませんでした。現在の決定者数は、小学校24人、中学校8人、合計32人です。

次のページをお願いします。

就学援助認定者数の前年度との比較表でございます。上段の要保護の認定者数、9月は令和6年度と比較し、3人増の22人です。下段の準要保護は、24人減の565人となっております。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

（質疑・意見）なし

(2) 教育委員会後援事業について（報告）

（説明）林学校教育課長

教育委員会後援事業について、ご報告いたします。

9月中に、知多市教育委員会後援に関する取扱要綱 第3条の規定に基づき、教育長の決定により、項番1事業名「地域別県民文化大祭典2025」から、項番6事業名「知多市防災標語コンクール2025」までの6事業について後援を承諾しましたので、ご報告いたします。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

（質疑・意見）なし

6 自由討議

(1) 学校訪問について

久野委員

新田小学校の学校訪問に出席しました。

とても人懐っこい子どもたちでしたが、授業に対しては集中して学んでいるように見えました。特別支援学級でも集団で学ぶ、ということが成立していて先生方の努力を感じました。

一点気になった点としては、普通教室の入り口のあたりで2時間目・3時間目ともに席に座ってられない子がいました。校長先生にも後でお聞きしたのですが、その子については本当にいろんな方が関わっていらっしゃってスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど様々な方々と連携しながらなんとかサポートしようとしているのですが、なかなか保護者の理解や協力が得られず、改善が難しいということでした。

専門職の方に入っていただくのは素晴らしいことですが、そういう体制ができたとしてもすぐに解決するものばかりではない、ということを感じます。その中で、本当にその子自身にとって良い形になっていくといいな、と強く感じました。

加古委員

知多中学校の学校訪問に出席しました。

第一印象として校内の環境整備が行き届いており、学校訪問については負担もあるかと思いますが、皆さんで準備されたという印象で嬉しく感じました。

また、若い先生が多く、授業の展開について少し疑問に思うところなどもありました。その点については、学校全体で支援していただいていると思いますが、今後とも管理職が中心になってお願いしたいと思います。また、同行の指導主事からしっかり指導いただいていると思いますが、どうでしょうか

佐方指導主事

全体研究授業についてはかなり踏み込んだ指導をしています。

今回、私が見学した授業では、最後に内容の確認や押さえが教師の方から全くなかったもので、それぞれの子たちがふわっと終わってしまって、基本的な知識の定着について、それで大丈夫なのか、という点は一番大きく疑問に感じました。

栗本委員

旭南小学校、岡田小学校、旭南中学校の学校訪問に出席しました。

旭南中学校では、今回の総合教育会議で不登校をテーマに扱うこともあり、別室登校の教室ではどのような対応をしているのかを見てきました。個々の生徒たちに良い対応ができているかと思います。

また、私が学校訪問へ行く際は、そこで働く管理職がどのような雰囲気働いているのか、という点にもつい目が行ってしまいます。その中で校長先生と教頭先生については、年齢差やキャリアがあったり、お互いに遠慮してしまったり、ということがありますが、任期は限られていてあっという間に過ぎてしまうので、言いたいことややりたいことはお互いにはっきりと言ったうえで進めていった方がよい、ということ旭南中学校では強く伝えました。

竹内委員

つつじが丘小学校の学校訪問に出席しました。

学校全体で季節の掲示物が展示してあったり、階段に英語の数字で全部貼り紙がしてあったり、細かいところで子どもたちの学習力を高める非常に良い取り組みだと感じました。

つつじが丘小学校の特色として外国にルーツを持つ子どもたちが多くあります。そ

の中で日本語適応教室が配置されていて、先生がポルトガル語と日本語使いこなして授業をされているところを見て感心しました。

また、日本語初期指導教室には中学生もいました。日本語が得意ではない中学生がつつじが丘小学校に集まって授業をするというのは先生方にとって大変だと感じましたし、場合によっては家まで迎えに行っている先生もいるということをお聞きしたので、非常に頭が下がる思いでした。

研究事業については、自由進度学習を見学しました。まだそこまで定着した授業方式ではないと思いますが、理解ができる子はどんどん先に進めていく。しかし、わからない子はずっと基礎のままで、授業の中で大きな差が生まれてしまっていると感じました。このことについては、もっと改善の余地はあると思いましたし、一旦授業を途中で止めて、もっと仲間同士で教え合う機会を作ってもよいのではないかと感じました。

(2) 第51回知多市民美術展の開催について

濱野生涯学習スポーツ課長

行事の概要について説明した。

(3) 11月の行事等予定について

林学校教育課長

11月の行事等予定表の事項を説明した。

7 閉会

第10回知多市教育委員会定例会を閉会する。

次回は、11月14日（金）午前9時30分から第11回定例会を予定する。

知多市教育委員会会議規則（昭和45年教委規則第2号）第14条の規定により、ここに署名する。

令和7年10月10日

(教育長) _____

(委員) _____

(委員) _____

(教育部長) _____